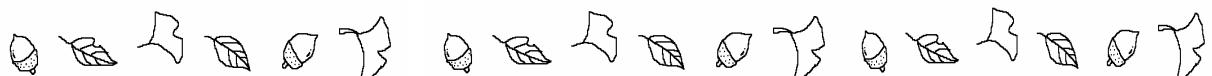


# 岡山SRH研究会 会報誌 ~第8号~

平成19年10月6日発行  
岡山SRH研究会運営委員会



秋風の心地よい季節となりました。  
皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

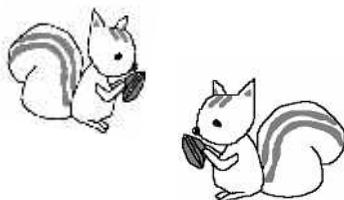
最近、「人恋しい」という言葉をよく耳にする気がします。  
やり場のない寂しさを表現してくる子も多いようです。  
・・・秋は、そんな季節でもあるのでしょうか。  
心をあたためてくれる存在や、そばで見守ってくれる人が、  
自分にはついているのだということを実感してもらえるよう、  
私たちも彼らにうまく働きかけ、形にならないぬくもりをそっと  
与えられる存在でありたいと感じています。

季節の変わり目であり、また多忙な時期でもあるかと思います。  
これから季節、冷え込みも厳しくなりますのでお身体には  
充分お気をつけください。  
澄み切った秋空のように、皆様のお気持ちが爽快でありますよう  
お祈り申し上げます。

(運営委員会 会報誌係)

## TOPICS

- |            |                              |
|------------|------------------------------|
| 第14回研修会報告  | 『大学生とつくる性教育』 安日泰子先生          |
| 上村茂仁先生のコラム | 『性教育をやめようと考え、そして頑張ろうと思った日』   |
| コラムバトソリレー  | これから養護教諭として羽ばたく学生の方からのコラムです  |
| 特別寄稿       | 蓮尾豊先生から低用量ピルについてのお話をいただきました。 |
| 連絡・おしらせ    | 次回の研修会、10月について…etc           |



# 研修会報告

平成19年9月2日(日) 第14回研修会が開かれました。

「大学生と作る性教育」というテーマで、やすひワイメンズクリニックの安日泰子先生から、学生たちに働きかけているピアを取り入れた性教育についてや、かかりやすいクリニックをとおしてピアたちを育てている活発な取り組みについて、大変興味深く、あたたかいお話をいただきました。私たちの目指すピアエディケーションのありかたを深く学ぶことができ、講演を聴いた会員たちからは、「来て本当に良かった…」という声が多く寄せられました。

## 長崎大学での性教育プログラム

授業「性と生」では、人間の性についての学習を様々な視点から考える内容で構成されており、時には外来講師を招いたり、「性行為における同意について」のピアメッセージを読んで考えさせたり、工夫がされている。ピアメッセージとは同じ授業を受けた先輩大学生が書いた感想で、読んだ学生はかなり気持ちを動かされた様子がみられた。

## 学生の活動「からだ探検隊」実践内容

からだ探検隊という看護学生を中心としたグループが2000年に結成されて以来今日まで続いている、小学生などを対象にした出前講座を開催している。プログラムの豊かさや伸び伸びと質問ができる雰囲気、大人の先生としてのよきロールモデルとして話ができるところなどが、好評を得ている。

## 学生と医院の関係

Y-Yびあルームは2005年に院内に開設。助産師と学生がスタッフとして関わっており、ピア・エデュケーションとピア・カウンセリングができる場である。窓口では、避妊カウンセリングや受診勧奨、その他思春期相談などの相談を受けている。

医療、地域、学校が連携し、下表のようにそれぞれの役割でできることを行うことが大切とのお話をしました。

	医療(治療)	地域(予防)	総合学習	学校(教育)
対象	・ハイリスクグループ	・ハイリスクグループ ・個別グループ ・カップル		・一般生徒
基本姿勢	・とにかく医療につないでおくこと ・受容的であること ・個別性行動の危険性指摘と注意・情報提供	・助産師、看護学生による具体的なスキル提供 ・より詳しい情報提供 ・カウンセリング的関わり		・教師による一般的な知識 ・情報提供 ・学外アクセス先の情報提供 ・ライフスキル教育
具体的内容	・医師による検査・治療 ・フローアップ	・コンドーム・ピル・緊急避妊ピルの情報提供 ・個別カップル間の交渉術		・ジェンダー教育 ・人権教育 ・メディア教育 ・性教育

# 上村茂仁先生のコラム

・・・性教育をやめようと考え、そして頑張ろうと思った日・・・

性教育で学校に行くとき、いつも不安でいっぱいです。今日の生徒はどんな反応だろう？退屈させないように頑張らないと。子供たちは正直で、こちらが疲れていたり、気持ちが入っていないとすぐに、それなりの反応を示します。大人の会で話す場合はそんなに苦労はしませんが、高校生や中学生の場合はそれなりの心構えが必要です。もちろん両親の愛情について話す場合は、母子、父子家庭や施設の子供などに配慮し、中絶などの話をする場合は、経験者が居ることを考慮して話をするのは当たり前のことです。

先日、ある中学校で性教育をしました。いろいろな意味で活発な学校でしたので、私のクリニックで中絶の診察を受けた子もその中に居ました。前日からその子に配慮するように、話の内容をしっかり吟味して望みました。子供が中絶した場合は、それは子供の責任ではなく、みんなに人の付き合い方、正しい性の知識をちゃんと教えることができなかった大人の責任であること。もし中絶があった場合、赤ちゃんは一度あなたを選んできてくれたのだけど、あなたの準備ができていなかったため、また帰っていった。でもまた同じ赤ちゃんが必ずあなたをまた探してやってくるから、そのときはちゃんと迎えてあげるようにしたらいいんだよ・・・とか。

中絶自体の話を避けようかとも思いました。しかし性教育の全体講演としてその話を避けることは出来ませんでした。講演が始まる直前、その子は遅れて体育館に入ってきました。話が始まって約15分後、中絶の話になりました。彼女を心の中で意識しながら話を始めて、1分もたたないうちに、彼女はその場を立ち上がり、走るように外に出てゆきました。私が準備した全ての話をきいてもらえないまま。きっと彼女が出て行ってからの私の話は身が入ってなかつたのでしょう。その後の講演において子供たちに反応もいまいちに感じました。この時ほど、性教育をもうやめたいと思ったことはありませんでした。クリニックに帰って、今年、後80程入っている性教育の予定をどうやってキャンセルしようかなんて本気で考えていました。そんな時ひとつのメールが携帯に入ってきた。あの子からでした。「あの時は、中絶の話が辛くて出て行きました。でも友達から、先生がその後、中絶をした子をかばう話をしていたって聞きました。私自身あのことは辛いけど、先生が言ったように自分に自信が持てるようになりたいと思います。だから私、頑張るんです。先生これからも、私たち子供のために頑張ってください。体に気をつけてくださいね」

・・・その日は、性教育を真剣にやめようと思い、そしてまた頑張ろうと  
立ち直り、精神的に疲れる一日でした。



## NEWS

今年、性教育活動が地方自治法施行60周年となったことを記念し、上村先生が、「地方自治功労者」として岡山県から表彰されました！今後もますますご活躍されることでしょう。私たちも先生の活動から学び得られることをしっかりと習得していくべきだと思います。・・・上村先生、おめでとうございます！

## コラムバトルリー

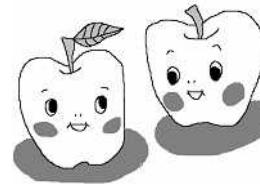
第7走者>> 大学生 岩佐えり

はじめまして。岡山大学教育学部養護教諭養成課程4回生の岩佐えりです。

大学生活も残り半年となりました。ずっと夢だった養護教諭という仕事がもう自分の目の前にあると思うと、期待と自分に出来るのかという不安でいっぱいです。私が小学生や中学生だった頃よりも「性」の悩みや不安が子ども達のもっと身边にあることを何度も教育実習に行って痛感しました。まだまだ勉強不足だと感じ、もっと「今」の子ども達の性の問題や気持ちを知りたいなと思っている時に、上村先生と知り合うことができ、SRH研究会にも参加させて頂くようになりました。このSRH研究会でたくさんのこと学び、「性」について悩んでいる子ども達と一緒に考え、寄り添うことができる養護教諭になりたいと思っています。上村先生をはじめSRH研究会の諸先輩方、これからもよろしくお願ひします。

# 特別寄稿！

今回は、青森県弘前市で低用量ピルを広め、全国トップレベルのピル処方数がある「弘前女性クリニック」「弘前レディスクリニックはすお」で、大変なご活躍をされている、蓮尾豊先生から貴重なコラムをいただきました！  
ピルについて正しく理解し、豊かな可能性について改めて知り、また多くの女性の希望を叶えるきっかけにもなることでしょう。



弘前女性クリニック 蓮尾 豊

青森県弘前市でピル専門のクリニックをオープンしています。上村先生と同じように中・高校での性教育活動を行っていますが、今回は低用量ピル（以下OCと略す）について書いてみます。

ご存知のようにOCは最も有効な避妊方法です。海外文献を参考にした日本産婦人科学会の報告では、その失敗率は理想的な使用で0.3%、一般的な使用で8%と記載されています。しかし、私は医師になってから中・高用量ピルを含めて30数年間ピルを使用していますが、飲み忘れや体調の変化がない理想的な服用で妊娠が成立してしまった女性はわずか1名のみでした。このことから失敗率は数万分の1と信じています。

しかしOCのみのクリニックを開業したのは、この正確な避妊効果のためだけではありません。OCは安全な薬剤であるとともに、多くの利点（副効用）があるからです。その利点が理解されておらず、むしろ誤解されている点も多々あります。月経痛に対しての最も有効な薬剤はOCでしょう。過多月絏、子宮内膜症、貧血、良性乳房疾患、子宮外妊娠、機能性卵巣嚢胞、良性卵巣腫瘍、子宮体癌、卵巣癌、大腸癌、骨粗鬆症、にきび、関節リュウマチがOC服用により減少します。それに、保険適応のある中・高用量ピルには機能性不妊症まであるのです。OCは避妊薬であるとともに、妊娠希望になったときにその希望がかないやすい薬剤であるとも言えるのです。

いろんな活動のおかげで、人口18万人の弘前市の小さな私のクリニックでも毎月2000名近い女性がOCを服用するようになりました。OCを勧めると、「お友達も飲んでいます」「姉も飲んでいます」「母からも勧められました」などの言葉を聞くことも多くなりました。

OCのことを「Life Design Drugs」とも呼びます。岡山県でもOCに対する正しい理解が進み、多くの女性がOCの恩恵を受けることができる日が1日も早く来ることを願っています。



(医) 弘前レディスクリニックはすお <http://www.oc-hirosaki.com/>

## 連絡・お知らせ

次の第15回研修会は、11月18日(日)13:30～ 岡山大学医学部記念会館で開催されます。  
詳細につきましては、別紙案内をご覧ください。多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

かふえ101が、次回は12月9日(日)に、クリニックで行われます。次回研修会でもご案内します。

このたびの会報誌で原稿等を提供してくださいました皆様に心よりお礼申し上げます。  
なお、コラムバトンリレーにつきましては、今後も会員の皆様に記事の提供をお願いさせていただくことと思います。その際は、どうかご協力いただきますようお願いいたします。m(\_ \_)m

